



# SPRING HILL NEWS LETTER

3か?  
いや・・・  
7か??



## ズバリ！数字を当てます。

4つの簡単な引き算があります。これをサッと解いてみてください。「 $1-1=$ 」「 $4-1=$ 」「 $8-7=$ 」「 $15-12=$ 」。どうですか、解けましたか。では次に、12から5までの間で、頭に浮かんだ数をひとつ選んでください。その数は、何でしたか。できれば紙に書いてみてください。準備はよろしいですか。それでは、その数字を当ててみたいと思います。その数字は、「○（答えは下で）」ではなかったでしょうか。もちろん異なる数字を選んだ方もいると思いますが、かなりの方がこの数を選んでしまったのではないのでしょうか。じつはこれ、キース・デブリンという数学者が「数学する遺伝子」（早川書房）という著書の中で書いているもの。既に何題か引き算をしている人は、頭が引き算モードになっているため、頭に浮かぶ数字は、「 $12-5=$ 」。となるわけです。言い当てられた方は、自分では引き算をやったわけではないのに、無意識に引き算をやっていたことになるというわけです。ふと、私は子供の頃のひっかけ問題を思い出しました。「ピザピザピザと10回言ってください」というものです。言い終えた後、肘をさし、「ここは？」という「ひざ」と言うものです。引き算モードに似ていると思ったのは、私だけでしょうか。

ズバリ、あなたの思い浮かべた数字は「7」ではないでしょうか？



ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

## ◆ コンビニにあつたらいいと思うサービス ◆

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

またまた、コピーライターの谷山雅計さんの「広告コピーってこう書くんだ！読本」で印象に残ったお話になります。今度は、谷山さんがコピーの学校に通っていた頃の話。年数は書いてありませんが、1980年代あたりでしょうか。糸井重里さんから「コンビニエンスストアで、こんなサービスやイベントをしてくれたらすごくいい、と思えるアイデアを考えよう」という課題がでたそうです。その時、生徒は、「歌手のマドンナがコンサートをやる」「コンビニがシアターになる」と奇抜さを競い合ったと言います。ところが、糸井さんがいい例として口に出したのが、「たとえば、買ったカップラーメンに、その場でお湯を入れて作れるサービスがあつたらいいね」。今では、当たり前になっているものの、当時はそんなコンビニはほとんど見かけなかったようです。コンビニを利用する人の幸せを考えれば、マドンナでもなく、シアターでもなく、お湯。「たしかにな」と私は思いました。最近では、お湯だけでなく、コンビニはイトインを設けて、「食べる場」を提供していますね。これも、コピーライターの仕事でしょうかと、私は密かに想像していました。

## 編集長「かじた」のつぶやき・・・

今月は、あまり面白い事も頭に浮かばないので・・・、う～ん、そうですね、おいしい焼き鳥屋さんを見つけた話をしましょう。先日、焼き鳥屋に行きました。凄いボリュームで、味も旨く、そして安い。こんな焼き鳥屋のご紹介です。まず、飲みに行った経緯ですが、あるお客様で、取引が終わりその話の流れで「今度飲みに行きましょうよ」と誘われたのがきっかけです。いつ誘われたか??確か2016年の12月だったような・・・。「ハイ行きましょう！」とは言うものの、正直その時間をとる余裕がありませんでした・・・(そう、多忙です。おかげさまで!!)そしてたらですね、突然お電話頂きまして、「ヤバい、約束守ってないカラか?!半年放置!!」と思っていたら、何と、お客様のご紹介でした！（ありがとうございます）何となく忙しくて・・・すいません・・・また必ず行きましょう。とお話をして、ご紹介頂いた方の対応をしました。結果、その方も無事ご成約を頂いて、これは何としても飲みに行きお礼をしなればと・・・(ホントにいずれ行こうとは思ってましたよ)そして、どこにしようとの話になり、当社本社の3件隣にある焼き鳥屋に行くことにしました。近い・料も多い・旨い・安い、で言う事なしでした。その焼き鳥屋の名は「鳥貴族」です。こんなに有名なのに・・・初めて行きました。(みんなに凄いビビられた)